資料３

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）　【項目の説明】

１　成果指標の達成度

区 分	内容
a	目標値以上
b	１期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）以上～目標値未満
c	目標達成率 60%以上～第１期実施計画策定時の現状値（又は個別設定値）未満
d	目標達成率 60%未満

※第２期又は第３期実施計画から新たに設定した指標については、「１期実施計画策定時」を「２期実施計画策定時」又は「３期実施計画策定時」に読み替える。

２　施策の進捗状況

区 分	内容
A	順調に推移している。（目標達成している。）
B	一定の進捗がある。（目標達成に向けて進捗している。）
C	進捗が遅れている。（目標達成が遅れる可能性がある。）
D	進捗が大幅に遅れている。（目標達成が難しい可能性がある。）

３　選定区分

区 分	選定の視点
①	これまで審議対象となっていない施策 （概ね１０年間を対象とした総合計画の終期を見据え、内部評価結果の妥当性や施策の方向性を網羅的に検証する必要があるため）
②	計画策定後の社会経済状況の変化を踏まえ、方向性の確認が必要な施策
③	施策の達成状況等を踏まえ、今後の取組の方向性の確認が必要な施策
④	令和４・５年度に市が重点的に取組を進めており、部会で審議する必要性の高い施策
⑤	総合計画と連携する分野別計画等の改定が行われる施策

４　選定外区分

区 分	選定外となる視点
ア	施策の進捗状況区分がＡ又はＢであり、事業を取り巻く社会経済状況の変化が小さい施策 （これまで審議対象となっていない施策を除く）
イ	他の仕組み（公共事業評価審査委員会等）で同様の評価等を行っており、部会で審議対象とする必要性が低い施策
ウ	成果指標の達成度が１つも把握できない施策
エ	完了に長期間を要する事業を含んでおり、当該年度に評価する必要性が低い施策
オ	前回の政策評価審査委員会の部会で審議した施策 （状況等の変化から再度確認が必要な施策を除く）

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	1-4-1	総合的なケアの推進（多様な主体による地域での支え合いのしくみをつくる）	●「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づく、市民が、住み慣れた地域や本人の望む場で、安心して暮らし続けることができるしくみづくりの更なる推進 ●地域内の多様な主体が、地域における将来のあるべき姿を共有し、具体的な行動を行えるように、考え方を地域全体で共有 ●新型コロナウイルス感染症の影響による生活行動の変化を踏まえた、地域資源の活用によるセルフケア意識の醸成や地域の支え合い・助け合い等、地区カルテを活用した地域マネジメントの推進 ●医療・看護・介護の連携による地域における包括的かつ継続的な在宅療養・看取りのしくみづくりの推進 ●対象者を年齢や疾病、障害の種別等で限定しない、全世代・全対象型の地域リハビリテーションと高齢者の自立支援や効果的な介護予防の推進 ●認知症の予防、早期発見・対応に向けた普及啓発と、認知症の人と家族を支える支援ネットワークの構築 ●高齢者・障害者等の災害時援護体制の整備に向けた取組の推進	（1）	高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合	目標値				20.24	20.85	22.09	%	↘	a	a	a	B	B	B	B	B	②④⑤	186	●		●		
						実績値	17.07	17.91	19.02	19.79	19.85			増減														
				（2）	高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合（前期高齢者）	目標値				4.68	4.62	4.52	%	↘	b	b	b												
						実績値	4.82	4.77	4.79	4.87	4.75			維持														
				（3）	高齢者のうち、介護を必要とする人（要介護・要支援認定者）の割合（後期高齢者）	目標値				33.68	34.02	34.73	%	↘	a	a	a												
						実績値	32.02	32.33	32.99	33.3	32.55			増減														
				（4）	地域包括ケアシステムの考え方の理解度	目標値				－	26	42	%	↗	－	b	b											
						実績値	10.1	9.9	9.2	－	10.6			増減														
				（5）	地域包括ケアシステムの構築に向けた、地域みまもり支援センターの認知度	目標値				40	－	50	%	↗	b	－	b											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	31	39.9	－			増減														
				（6）	在宅チーム医療を担う人材育成研修の受講者累計数	目標値				1,300	1,450	1,750	人	↗	a	a	a											
						実績値	308	609	1,007	1,305	1,455			増減														
				（7）	介護予防の取組として、地域の活動に参加する人の割合	目標値				17.5	－	20	%	↗	d	－	d											
						実績値	10.6	11.5	11	8.7	－			増減														
				（8）	民生委員児童委員の充足率	目標値				97.2	97.5	98.2	%	↗	c	c	c											
						実績値	90.5	87.8	83.1	82.5	82.7			増減														
				（9）	民生委員児童委員の認知度	目標値				62	－	70	%	↗	b	－	b											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	53.9	54.6	－			増減														
				（10）	認知症サポーター累計養成者数	目標値				86,480	94,480	110,480	人	↗	b	b	b											
						実績値	24,034	41,980	70,024	74,543	81,043			増減														
	1-4-2	高齢者福祉サービスの充実（介護が必要になっても高齢者が生活しやすい環境をつくる）	●質の高い介護サービス基盤の整備と介護が必要となっても自分らしく暮らし続けるためのサービスの着実な提供 ●高齢者福祉施設の長寿命化、建替えに合わせた再編・統合、公設施設の運営手法等の見直しなどによる、介護サービスの提供基盤の確保 ●災害や感染症等発生時の高齢者福祉施設の安定的な運営に向けた取組と、社会変容への的確な対応 ●限られた人的資源の効率的・効果的な活用と、介護ロボット等の導入による介護職員の身体的負担の軽減とICTを活用した業務の効率化	（1）	介護サービスを受けながら住み慣れた地域で暮らす高齢者の数（主な「地域密着型サービス」の延べ利用者数）	目標値				27,384	31,452	39,586	人／年	↗	b	－	R6.5頃判明	B	B	B	B	B	⑤オ	196		●		●	
						実績値	10,380	12,651	19,912	21,491	R6.5頃判明			増減														
				（2）	現在利用している在宅サービスの評価（「不満」のない方の割合）	目標値				94.3	－	94.3	%	↗	a	－	a											
						実績値	94.3	92.9	94	96.6	－			維持														
				（3）	かわさき健幸福寿プロジェクトの実施結果（プロジェクト参加者の要介護度の改善率）	目標値				17	17	17	%	↗	c	－	R6.8頃判明												
						実績値	16.7	15.9	6.2	13	R6.8頃判明			維持														
				（4）	かわさき健幸福寿プロジェクトの実施結果（プロジェクト参加者の要介護度の維持率）	目標値				65	65	65	%	↗	a	－	R6.8頃判明												
						実績値	63.9	49.1	78	71	R6.8頃判明			増減														
				（5）	かわさき健幸福寿プロジェクトの参加事業所数	目標値				320	350	400	事業所	↗	b	b	b											
						実績値	第2期から設定	246	256	301	272			増減														
				（6）	介護人材の不足感	目標値				71	－	70	%	↘	c	－	c											
						実績値	75.7	77.2	75.8	79.8	－			増減														
				（7）	介護人材マッチング・定着支援事業の求職者のうち就職した人数	目標値				88	92	100	人	↗	b	d	d											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	82	87	41			増減														
	1-4-3	高齢者が生きがいを持てる地域づくり（高齢者が生きがいをもって暮らせる環境をつくる）	●さまざまな経験や知識を有する高齢者の地域づくりへの参加や、高齢者の生きがい、健康づくりを支援する仕組・環境の整備 ●高齢者の更なる増加や社会環境の変化を見据えた制度の再構築 ●高齢者が地域で生き生きと暮らせるよう、地域交流の促進や多様な人材が活動する地域コミュニティの拠点づくりに向けた取組の実施	（1）	収入を伴う仕事をしている高齢者の割合	目標値				35.4	－	38.3	%	↗	b	－	b	B	B	B	B	B	②④⑤	201		●			
						実績値	26.7	29.6	31.8	31.3	－			増減														
				（2）	ほぼ毎日外出している高齢者の割合	目標値				53.8	－	55	%	↗	b	－	b											
						実績値	48.1	50.8	52.5	50.5	－			増減														
				（3）	高齢者向け施設（いきいきセンター）の利用実績	目標値				29.13	29.15	29.2	万人	↗	d	d	d											
						実績値	28.9	28.2	11.1	17.2	17.2			増減														
				（4）	生活に「はり」や「楽しみ」を感じている高齢者の割合	目標値				52.5	－	55	%	↗	b	－	b											
						実績値	35.1	43.7	43.4	47.2	－			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	1-4-4	障害福祉サービスの充実（障害者が生活しやすい環境をつくる）	●行政と民間事業者等との役割分担と連携のもと、障害特性やライフステージなどの状況に合わせた支援体制の構築 ●短期入所の充実、日中活動の場の確保など、障害者の在宅生活を支援する基盤の充実に向けた整備 ●新規の相談が増加している、発達に課題のある子どもに対する支援体制の充実と主に中重度の障害のある子どもに対する地域療育センターを中心とした療育体制の確保 ●医療的ケアを必要とする「医療的ケア児」の在宅生活を支える支援の充実 ●災害や感染症等の発生時の円滑な対応に向けた物資の確保や応援体制の構築	（1）	日中活動系サービスの利用者数	目標値				6,645	6,882	7,254	人／月	↗ 増減	b	a	a	B	B	B	B	B	①②④⑤	204					◎
						実績値	4,324	4,740	6,142	6,609	6,959																		
				（2）	グループホームの利用者数	目標値				1,493	1,593	1,819	人／月	↗ 増減	a	a	a												
						実績値	998	1,114	1,437	1,601	1,716																		
				（3）	長期（1年以上）在院者数（精神障害）65歳未満	目標値				223	212	189	人	↘ 増減	b	b	b												
						実績値	306	279	311	281	288																		
				（4）	長期（1年以上）在院者数（精神障害）65歳以上	目標値				393	385	368	人	↘ 増減	c	c	c												
						実績値	345	434	449	444	464																		
				（5）	市内の相談支援事業所が、精神障害者の地域移行支援を実施した人数	目標値				61	61	61	人	↗ 維持	a	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	61	71	58																		
	1-4-5	障害者の自立支援と社会参加の促進（障害者が社会で活躍しやすい環境をつくる）	●障害者が就労することで社会的・経済的に自立し、豊かな地域生活が送ることができるよう、障害者雇用を取り巻く環境の変化や障害者特性、本人の希望を踏まえた取組の推進 ●多様な主体との連携を図りながら、さまざまなイベントや場面などを捉えた共生社会に向けた取組の推進 ●「ひきこもり地域支援センター」を中心とする切れ目ない支援の実施に向けたネットワークの構築	（1）	障害福祉施設からの一般就労移行者数	目標値				296	320	345	人	↗ 増減	a	－	R6.7頃判明	B	A	B	B	A	④⑤	208			●		
						実績値	180	217	213	328	R6.7頃判明																		
				（2）	障害者が社会参加しやすいまちだと思う市民の割合	目標値				－	34	35	%	↗ 増減	－	b	b												
						実績値	30	30.4	28.6	－	30.7																		
				（3）	障害福祉施設から一般就労した方の１年後の就労定着率	目標値				74.1	74.5	75.3	%	↗ 増減	a	－	R6.6頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	72.9	78	R6.6頃判明																		
				（4）	ひきこもり地域支援センターで対応するひきこもりに関する相談の件数	目標値				1,500	1,600	1,800	件	↗ 増減	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	1,418	1,635	1,960																		
	1-4-6	誰もが暮らしやすい住宅・居住環境の整備（それぞれのニーズやライフスタイルに合った住宅が選択できる環境を整える）	●高齢者や子育て世帯等の多様化する居住ニーズやライフスタイル等に応じた住まい・住まい方の実現 ●既存住宅の活用強化と流通促進やマンションの管理適正化等に向けた誘導・支援の推進 ●重層的な住宅セーフティネットの構築に向けた市営住宅の活用の推進と居住支援協議会の適切な運営	（1）	住宅に関する市民の満足度	目標値				－	80	80	%	↗ 増減	－	－	R7.8頃判明	A	B	A	A	A	①②⑤	211					◎
						実績値	73	－	70	－	R7.8頃判明																		
				（2）	既存住宅の流通シェア率	目標値				－	20.2	20.2	%	↗ 増減	－	－	R6.9頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	18.2	－	R6.9頃判明																		
				（3）	生活支援施設等の併設や地域と連携した取組等を行っている市営住宅の団地（100戸以上）の割合	目標値				29.5	33	40	%	↗ 増減	a	a	a												
						実績値	17	21	38.6	42.1	42.1																		
	1-4-7	生き生きと暮らすための健康づくり（健康で生き生きとした生活を送る市民を増やす）	●地域団体・企業等の多様な主体と連携しながら、介護予防の取組と一体となった、生涯を通じた主体的な健康づくりとそれを支える環境づくりの推進 ●新しい生活様式を踏まえながら、健康づくりや生活習慣病・介護等の予防の取組、健康診断等の受診につなげるための効果的な情報発信の推進 ●「がん」の早期発見・早期治療に向けたがん検診の受診率向上と、生活習慣の改善等がんにならないための取組の推進	（1）	主観的健康観（「非常に健康」「ほぼ健康」と回答した市民の割合）【男性】	目標値				77	－	77	%	↗ 増減	b	－	b	B	B	B	B	B	①②④⑤	216					◎
						実績値	73.7	71.7	71.7	76.2	－																		
				（2）	主観的健康観（「非常に健康」「ほぼ健康」と回答した市民の割合）【女性】	目標値				80	－	80	%	↗ 増減	b	－	b												
						実績値	76.8	79	79	79.6	－																		
				（3）	特定健康診査実施率（国民健康保険）	目標値				34	35.5	35.5	%	↗ 増減	b	b	b												
						実績値	24.5	26.2	25.8	27	29																		
				（4）	特定保健指導実施率（国民健康保険）	目標値				12	13.5	13.5	%	↗ 増減	d	b	b												
						実績値	6	4.3	6	4.4	6																		
				（5）	がん検診受診率（肺がん）	目標値				50	－	50	%	↗ 増減	a	－	a												
						実績値	44.5	45.5	50.5	54.8	－																		
				（6）	がん検診受診率（大腸がん）	目標値				50	0	50	%	↗ 増減	a	－	a												
						実績値	40.5	43.3	47.3	51.3	－																		
				（7）	がん検診受診率（胃がん）	目標値				50	0	50	%	↗ 増減	a	－	a												
						実績値	42.2	43.8	53.5	53.8	－																		
				（8）	がん検診受診率（子宮がん）	目標値				50	0	50	%	↗ 増減	b	－	b												
						実績値	46.1	46.1	48.5	49.1	－																		
				（9）	がん検診受診率（乳がん）	目標値				50	0	50	%	↗ 増減	a	－	a												
						実績値	46.1	47.4	48.5	51.4	－																		
				（10）	40歳代の糖尿病治療者割合（国民健康保険）	目標値				3	3	3	%	↘ 維持	c	b	b												
						実績値	3.1	3.15	2.9	3.3	3.2																		
				（11）	食に関する地域での活動に参加する人の割合（食育に関する地域活動への参加割合）	目標値				40	－	41	%	↗ 増減	c	－	c												
						実績値	38.3	33.6	31.2	30.9	－																		
				（12）	食に関する地域での活動に参加する人の割合（食生活改善推進員数）	目標値				4,350	4,400	4,500	人	↗ 増減	a	a	a												
						実績値	3,862	4,005	4,264	4,400	4,470																		

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	1-5-1	確かな安心を支える医療保険制度等の運営（信頼される医療保険及び医療費等の支援制度を安定的に運営する）	●国の制度改正による業務の複雑化への対応や医療費の適正化を図りながら、国民健康保険や後期高齢者医療制度の安定的かつ持続的な運営を確保 ●社会状況等を踏まえた重度障害者医療費助成制度のあり方の検討	（1）	国民健康保険料収入率等【現年度分】	目標値				95.05	95.1	95.2	%	↗	b	a	a	A	B	B	A	A	①	221					入替候補
						実績値	92.96	94.12	94.76	94.95	95.1			増減															
				（2）	国民健康保険料収入率等【収入未済額】	目標値				26.38	25.75	25	億円	↘	b	b	b												
						実績値	67.5319	43.5	30.77	27.6	27.24			増減															
				（3）	後期高齢者医療保険料収入率等【現年度分】	目標値				99.63	99.64	99.66	%	↗	b	a	a												
						実績値	99.31	99.39	99.62	99.59	99.64			維持															
				（4）	後期高齢者医療保険料収入率等【収入未済額】	目標値				7,784	7,907	8,148	万円	↘	b	b	b												
						実績値	9,737	12,997	8,377	8,969	8,928			増減															
	1-5-2	自立生活に向けた取組の推進（健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立した生活を送る人を増やす）	●真に保護が必要な人に対する健康で文化的な最低限度の生活の保障と、就労など自立のための支援や医療扶助の適正化に向けた取組の推進 ●生活保護受給世帯等の子どもの将来的な自立に向けた学習・生活支援の実施 ●生活保護に至る前の生活困窮者に対する社会的・経済的自立に向けた就労・生活支援の実施	（1）	生活保護から経済的に自立（収入増による保護廃止）した世帯の数	目標値				650	650	650	世帯	↗	a	a	a	B	A	B	A	A	② オ	224				●	
						実績値	608	666	595	703	660			増減															
				（2）	学習支援・居場所づくり事業利用者の高校等進学率	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a												
						実績値	99	100	100	100	100			増減															
				（3）	だいJOBセンターの支援を通じて状況が改善した割合	目標値				73.5	74	75	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	73	89	88			増減															
				（4）	就労支援事業等に参加可能な人の事業参加率	目標値				65	65	65	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	53	74	65			増減															
	1-6-1	医療供給体制の充実・強化（いつでも安心して適切な医療が受けられる環境を整える）	●医療機関における必要な病床機能の確保や、地域の医療機関の機能分担・連携による医療供給体制の充実、新興・再興感染症にかかる国の議論を踏まえた今後の医療提供体制の検討 ●資質の高い看護人材の養成や看護職員の市内医療機関等への定着促進と、安定的な看護師の養成・確保に向けた取組の推進、高度な専門性を有する看護人材を養成する大学院の設置に向けた検討 ●緊急性の高い傷病者に対する確実な救急医療資源の提供 ●救急車の適正利用の促進や救急需要の動向把握による救急体制の整備	（1）	かかりつけ医がいる人の割合	目標値				－	60.5	61	%	↗	－	c	c	A	A	A	B	B	① ② ④	227					入替候補
						実績値	57.5	59.5	58.6	0	56.31			増減															
				（2）	身近な地域の医療機関を受診する市民の割合（平日日中の発熱等への対応）	目標値				－	91.5	92	%	↗	－	b	b												
						実績値	86.9	90.7	90.3	0	91.33			増減															
				（3）	川崎DMAT（災害医療派遣チーム）の隊員養成研修修了累計者数（3指定病院合計）	目標値				270	300	350	人	↗	a	b	b												
						実績値	130	175	244	291	291			増減															
				（4）	救急搬送者の119番通報から医療機関までの平均搬送時間【うち救急車の現場到着時間】	目標値				42【8.8】	41.4【8.6】	40.0【8.0】	分	↘	c	c	c												
						実績値	42.6【8.4】	40.8【8.4】	42.6【9.0】	49.8【10.2】	47.5【9.8】			増減															
				（5）	救急隊が到着するまでに、市民が心肺蘇生を実施した割合	目標値				45.8	45.8	47.6	%	↗	b	b	b												
						実績値	31.4	36.2	45.5	42.2	43			増減															
				（6）	市立看護短期大学及び市立看護大学新卒者の市内就職率	目標値				71.8	72.8	75	%	↗	c	c	c												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	69.6	64	60.9			増減															
	1-6-2	信頼される市立病院の運営（誰もが安心して暮らせる公的医療を提供する）	●いのちと健康を守る良質な医療の提供 ●機能分担と連携による地域完結型医療の推進 ●災害・新興感染症を想定した危機管理体制の充実 ●地域や社会に貢献する医学・医療の実践 ●安定的な医療提供を支える経営基盤の強化	（1）	入院患者満足度	目標値				90.2	90.2	90.2	%	↗	a	a	a	B	B	B	B	B	②	232		●			
						実績値	87.5	87.6	89.3	91.3	90.5			増減															
				（2）	外来患者満足度	目標値				84.3	84.3	84.3	%	↗	a	a	a												
						実績値	77.6	76.8	80	86.6	86			増減															
				（3）	病床利用率（一般病棟）	目標値				83	83	83	%	↗	c	c	c												
						実績値	72.9	76.5	65.9	65.2	68.2			増減															
				（4）	救急患者受入数	目標値				52,500	52,500	52,500	人	↗	c	c	c												
						実績値	49,873	48,835	30,383	35,538	35,365			増減															
	1-6-3	健康で快適な生活と環境の確保（感染症・食品等による健康被害を防止するとともに、良好な生活環境を整える）	●状況に応じた新型コロナウイルス感染症等への適切な対応と、新型インフルエンザ感染症等の発生予防とまん延の防止の取組の推進 ●新しい生活様式のニーズも踏まえた食品等事業者に対する効果的な衛生管理の指導など、食品の安全・安心を確保する取組の推進 ●多様な主体と連携した、動物愛護、適正飼養の普及啓発と人と動物が共生する社会の実現をめざす取組の推進	（1）	麻しん・風しん予防接種接種率【第１期】 ※【第1期】:1歳の間	目標値				98.6	98.6	98.6	%	↗	a	a	a	B	B	B	B	B	① ② ④	237					入替候補
						実績値	98.6	98.5	99.2	99.1	98.6			維持															
				（2）	麻しん・風しん予防接種接種率【第２期】 ※【第2期】:小学校入学前の１年間	目標値				95	95	95	%	↗	b	a	a												
						実績値	91.6	93.2	95.1	93.6	95			増減															
				（3）	感染症予防（手洗い・咳エチケット）の実施率	目標値				－	98	98	%	↗	－	c	c												
						実績値	95	94	98	－	94.95			増減															
				（4）	食中毒の発生件数	目標値				8	8	8	件	↘	c	a	a												
						実績値	8	13	8	10	6			維持															
				（5）	「食中毒予防の３原則」の実施率	目標値				－	89	90	%	↗	－	c	c												
						実績値	86.8	84.1	87.3	－	84.9			増減															
				（6）	市が実施する衛生的な住環境に関する講習会の実施回数	目標値				151	158	172	回	↗	b	a	a												
						実績値	95	93	104	104	160			増減															

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）							
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	2-1-1	子育てを社会全体で支える取組の推進（地域で子育てを支えるしくみをつくる）	●子育て親子の交流の場づくりや、市民相互による育児援助活動の支援など子育て家庭を地域社会全体で支える取組の推進 ●身近な場所での相談や情報提供など個別のニーズに応じた寄り添い型の支援と地域の子育て資源の育成及びネットワーク化の推進	（1）	ふれあい子育てサポートセンターの延べ利用者数	目標値				13,523	13,234	12,948	人	↗	c	c	c	B	B	B	B	B	②④⑤	246	●				
						実績値	15,665	15,596	8,292	10,988	11,200			増減															
				（2）	地域子育て支援センター利用者の満足度 （10点満点）	目標値				－	9.1	9.1	点	↗	－	a	a												
						実績値	8.9	9	9	－	9.1			増減															
				（3）	地域における子育て支援活動の参加数（延べ数）	目標値				1,325	1,674	2,371	回	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	627	1,391	1,773			増減															
	2-1-2	質の高い保育・幼児教育の推進（子どもを安心して預けられる環境を整える）	●必要な地域での保育所整備や既存施設活用など、見込まれる保育需要の変化に合わせた、多様な手法による保育受入枠や保育人材の確保の継続 ●保育・子育て総合支援センターを拠点とした保育の質の維持・向上と地域における子育て支援の充実 ●一時預かりの拡大や認定こども園への移行など、幼稚園における就労家庭の子どもの受入れの推進	（1）	待機児童数	目標値				0	0	0	人	↘	a	－	R6.5頃判明	B	B	B	B	B	②④⑤	250	●				
						実績値	0	0	0	0	R6.5頃判明			維持															
				（2）	認可保育所等利用者の満足度 （10点満点）	目標値				－	8.3	8.4	点	↗	－	－	R6.3頃判明												
						実績値	7.9	8.1	7.8	－	R6.3頃判明			増減															
	2-1-3	子どものすこやかな成長の促進（子どもがすこやかに成長できるしくみをつくる）	●妊娠・出産期から乳幼児期までの切れ目のない支援の継続 ●利用者ニーズの変化や地域の特性を踏まえた、子どもが放課後等において安全・安心に過ごせる場づくりや、より魅力的な子どもの居場所づくりの推進 ●子どもが多くの人との関わりの中で多様な価値観に触れ、さまざまな経験ができる機会の創出	（1）	乳幼児健診の平均受診率	目標値				97.8	97.8	97.8	%	↗	b	c	c	B	B	B	B	B	④⑤オ	256				●	
						実績値	97.2	95.2	97.8	97.3	93.6			維持															
				（2）	子育てが楽しいと思う人の割合	目標値				97.8	97.8	97.8	%	↗	b	b	b												
						実績値	97.5	97.2	96.9	97	97.7			維持															
				（3）	わくわくプラザの登録率	目標値				49.5	50	51	%	↗	c	c	c												
						実績値	46.3	48.1	36.2	34	40.4			増減															
				（4）	わくわくプラザ利用者の満足度	目標値				－	7.85	8	点	↗	－	－	R6.6頃判明												
						実績値	7.3	7.3	7.6	－	R6.6頃判明			増減															
				（5）	こども文化センターの延べ利用者数	目標値				1,330,000	1,490,000	1,830,000	人	↗	b	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	717,694	1,315,384	973,028			増減															
	2-1-4	子どもが安心して暮らせる支援体制づくり（子どもが安心して育つしくみをつくる）	●急増・複雑化する児童虐待に対応するための児童相談所の体制強化に向けた取組の推進 ●要支援家庭の早期発見・早期対応・重篤化の未然防止に向けた、児童家庭相談支援体制の強化 ●ひとり親家庭の複合的な課題への対応に向けた体制強化と、自立支援施策の推進 ●さまざまな背景・課題を抱えた子ども・若者を、地域社会全体で見守り・支えるしくみの構築	（1）	里親の登録数	目標値				207	222	252	世帯	↗	a	a	a	B	A	B	B	A	④⑤	260			●		
						実績値	116	133	173	215	229			増減															
				（2）	地域で子どもを見守る体制づくりが進んでいると思う人の割合	目標値				－	47	54	%	↗	－	－	R6.4頃判明												
						実績値	30.8	37.4	38.6	－	R6.4頃判明			増減															
				（3）	ひとり親家庭が、各種支援により就労につながった割合	目標値				75	77	80	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	73	88	80			増減															
				（4）	児童養護施設入所児童や里親委託児童等の大学進学等につながった割合	目標値				34	36	40	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	32	40	36			増減															

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標			成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
							目標値実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	2-2-1	「生きる力」を伸ばし、人間としての在り方生き方の軸をつくる教育の推進（すべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う）	●持続可能な社会の実現など新学習指導要領の視点に沿った適切な対応 ●小学校から高等学校までの計画的・系統的な「キャリア在り方生き方教育」の推進 ●すべての子どもの「分かる」をめざして、教育データを活用したきめ細かな指導・学びの推進 ●情報活用能力を基盤として、未来社会の創り手を育む「かわさきGIGAスクール構想」の推進 ●人権尊重を根幹とした教育活動の更なる推進 ●小中９年間にわたる「健康給食」の推進及び学校給食を活用した更なる食育の充実	（1）	「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【小6】	目標値				81.2	81.5	82	%	↗	c	c	c	A	A	B	B	B	②④⑤	267	●				
							実績値	75.9	78.8	73	74.7	71.7			増減															
				（2）	「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【中3】	目標値				74.2	74.5	75	%	↗	b	c	c												
						実績値	66.7	71.7	66	67.1	64.4			増減															
				（3）	「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【小5】	目標値				80.3	80.9	82	%	↗	c	c	c												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		79.8	78.5	74.9		増減															
				（4）	「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【中2】	目標値				67.3	69.9	75	%	↗	b	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	64.8	66	65.6			増減															
				（5）	「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合【小5】	目標値				93.2	93.5	94	%	↗	b	c	c												
						実績値	88.3	90.9	90.1	89.3	84.6			増減															
				（6）	「授業がわかる、どちらかといえばわかる」と回答した児童生徒の割合【中2】	目標値				80.5	81	82	%	↗	b	c	c												
						実績値	73.4	77.2	79.6	79	66.8			増減															
				（7）	「学習がすきだ、どちらかといえばすきだ」と回答した児童生徒の割合【小5】	目標値				80.2	80.5	81	%	↗	c	c	c												
						実績値	第2期から設定	77.8	75.4	73.4	70.1			増減															
				（8）	「学習がすきだ、どちらかといえばすきだ」と回答した児童生徒の割合【中2】	目標値				65.5	66	67	%	↗	b	c	c												
						実績値	第2期から設定	61.2	64.8	61.8	59.5			増減															
				（9）	「授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ、どちらかといえば役に立つ」と回答した児童生徒の割合【小5】	目標値				96.2	96.5	97	%	↗	c	c	c												
						実績値	第2期から設定	93.8	92.4	91.7	91.5			増減															
				（10）	「授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ、どちらかといえば役に立つ」と回答した児童生徒の割合【中2】	目標値				80.5	82	85	%	↗	b	a	a												
						実績値	第2期から設定	76.1	81	79.8	83.4			増減															
				（11）	体力テストの結果【小5男】	目標値				101.25	101.5	102	－	↗	b	b	b												
						実績値	99.7	100	99.9	100.37	100.89			増減															
				（12）	体力テストの結果【小5女】	目標値				101.25	101.5	102	－	↗	b	b	b												
						実績値	99.4	100.2	99.8	99.98	100			増減															
				（13）	体力テストの結果【中2男】	目標値				100	100	100	－	↗	b	b	b												
						実績値	92.9	93.1	94.5	95.76	96.12			増減															
				（14）	体力テストの結果【中2女】	目標値				100	100	100	－	↗	b	b	b												
						実績値	94.5	95.3	96.3	97.01	98.15			増減															
				（15）	学校給食の残食率（小学校）【白米】	目標値				5.94	5.78	5.46	%	↘	b	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	6.1	6.24	R6.4頃判明			維持															
				（16）	学校給食の残食率（小学校）【変わり飯】	目標値				6.6	6.21	5.41	%	↘	b	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	7	6.83	R6.4頃判明			増減															
				（17）	学校給食の残食率（小学校）【卵類】	目標値				6.6	5.9	4.5	%	↘	a	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	7.3	6.23	R6.4頃判明			増減															
				（18）	学校給食の残食率（小学校）【豆製品】	目標値				6.49	5.98	4.95	%	↘	b	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	7	6.56	R6.4頃判明			増減															
				（19）	学校給食の残食率（小学校）【藻類】	目標値				6.96	6.32	5.04	%	↘	a	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	7.6	6.89	R6.4頃判明			増減															
				（20）	学校給食の残食率（中学校）【白米】	目標値				18.98	16.75	12.3	%	↘	a	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	21.2	18.15	R6.4頃判明			増減															
				（21）	学校給食の残食率（中学校）【変わり飯】	目標値				12.29	11.27	9.24	%	↘	b	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	13.3	12.74	R6.4頃判明			増減															
				（22）	学校給食の残食率（中学校）【豆類】	目標値				14.15	13.2	11.29	%	↘	a	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	15.1	12.05	R6.4頃判明			増減															
				（23）	学校給食の残食率（中学校）【野菜類】	目標値				14.55	13.2	10.5	%	↘	a	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	15.9	13.35	R6.4頃判明			増減															
				（24）	学校給食の残食率（中学校）【藻類】	目標値				15.67	14.14	11.08	%	↘	b	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	17.2	16.5	R6.4頃判明			増減															

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤ 選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	2-2-2	一人ひとりの教育的ニーズへの対応（支援が必要な児童生徒の学習環境を向上させる）	●障害の有無にかかわらず、すべての子どもが共に学び合えるインクルーシブ教育システムの構築 ●特別支援学校の狭あい化への対応など計画的な施設整備の推進 ●特別な支援が必要な児童生徒の増加や外国につながりのある児童生徒への対応、不登校支援に関する国の方針を踏まえた、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実 ●福祉部門等との連携強化など、教育分野における子どもの貧困対策等の推進	（1）	支援の必要な児童の課題改善率（小学校）	目標値				95.5	96	97	%	↗	c	－	R6.3頃判明	A	A	B	B	B	②④⑤	277		●			
						実績値	81.8	91.3	90.9	81.2	R6.3頃判明			増減														
				（2）	1,000人あたりの暴力行為発生件数（中学校）	目標値				6.84	6.79	6.7	件	↘	a	a	a												
						実績値	8.29	7.56	5.05	4.9	6.6			増減														
				（3）	いじめの解消率【小学校】	目標値				85.2	85.3	85.5	%	↗	b	b	b												
						実績値	65.8	83.2	70.2	77.3	78			増減														
				（4）	いじめの解消率【中学校】	目標値				92	92	92	%	↗	c	c	c												
						実績値	83.2	91.8	76.5	81.8	79.6			増減														
				（5）	支援の必要な生徒の課題改善率（中学校）	目標値				75.9	77.3	80	%	↗	c	－	R6.3頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		74.5	62.8	R6.3頃判明		増減														
				（6）	通常の学級に在籍する個別の指導計画の作成が必要な児童生徒に対して計画を作成した割合（小・中学校・高等学校）	目標値				78.2	85.5	100	%	↗	a	－	R6.3頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		70.9	80.6	R6.3頃判明		増減														
				（7）	市立特別支援学校卒業生のうち、就労した生徒の１年後の就労定着率	目標値				95.4	97	100	%	↗	c	－	R6.3頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		93.9	89.7	R6.3頃判明		増減														
	2-2-3	安全で快適な教育環境の整備（安全で快適に過ごせる学習環境を整える）	●事件・事故、災害から子どもたちを守る取組の推進 ●「学校施設長期保全計画」に基づく取組の着実な推進 ●快適な学習環境の確保に向けた設備更新 ●地域ごとの児童生徒数の動向や義務標準法の改正に伴う影響を踏まえた良好な教育環境整備の推進	（1）	児童生徒の登下校中の事故件数	目標値				24.5	24	23	件	↘	c	c	c	A	A	B	B	B	①②④⑤	283					◎
						実績値	29	28	35.6	34.6	32.8			増減														
				（2）	老朽化対策及び質的改善が行われた学校施設の割合	目標値				57.5	65	80	%	↗	b	b	b												
						実績値	24.1	26.4	39.7	44.3	48.3			増減														
	2-2-4	学校の教育力の向上（教職員の資質を高め、保護者や地域と連携して、より良い学習活動（授業等）を実現する）	●さまざまな教育課題への対応力向上を図るための学校運営・支援体制の充実 ●教職員の長時間勤務の是正に向けた、働き方・仕事の進め方改革の推進	（1）	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【小6】	目標値				65.5	68	73	%	↗	a	a	a	A	B	A	B	B	②⑤オ	287				●	
						実績値	58.4	62.6	72.4	72.5	71.3			増減														
				（2）	「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【中3】	目標値				51.2	51.3	51.5	%	↗	a	a	a												
						実績値	45	50.3	63.4	57.4	55.6			増減														
				（3）	「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【小6】	目標値				58.5	59	60	%	↗	c	c	c												
						実績値	53.6	47.4	45	41.1	47.5			増減														
				（4）	「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合【中3】	目標値				34	36	40	%	↗	c	c	c												
						実績値	31.2	31.9	31.2	27.1	27.7			増減														
				（5）	「学校生活が楽しい、どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合【小5】	目標値				94	94	94	%	↗	b	c	c												
						実績値	93.3	94.4	93.8	93.3	82.2			維持														
				（6）	「学校生活が楽しい、どちらかといえば楽しい」と回答した児童生徒の割合【中2】	目標値				91	91.5	93	%	↗	b	c	c												
						実績値	89.9	89.9	89.9	90.9	81.1			増減														
				（7）	保護者や地域が運営に「よく参加している」と回答した学校の割合【小】	目標値				50	55	64.6	%	↗	c	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		44.3	40.9	49.6		増減														
				（8）	保護者や地域が運営に「よく参加している」と回答した学校の割合【中】	目標値				28	31.5	38.2	%	↗	c	c	c												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		24.5	18.9	18.9		増減														
				（9）	学校における総合健康リスクの平均値	目標値				89	86	80	－	↘	a	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		92.6	87.4	87.8		増減														
	2-3-1	家庭・地域の教育力の向上（大人と子どもなど、地域での多世代の交流を増やすとともに、家庭教育の悩みを軽減する）	●家庭教育に関する学びの場への参加促進と、家庭教育を支援するためのネットワークづくりの推進 ●中学校区地域教育会議における活動推進と、行政区地域教育会議における中学校区地域教育会議への支援・補完機能の強化 ●地域ぐるみで子どもを育てる「地域の寺子屋事業」の全小・中学校への拡充と、継続した運営に向けた担い手づくりの推進	（1）	親や教員以外の地域の大人と知り合うことができた割合	目標値				92.75	93.5	95	%	↗	a	a	a	A	A	B	B	B	①④⑤	292					入替候補
						実績値	87.6	88.6	94.5	97.12	95			増減														
				（2）	家庭教育事業を通じて悩みや不安が解消・軽減した割合	目標値				92.625	92.75	93	%	↗	a	－	R6.5頃判明												
						実績値	91.4	92.4	83.8	96.6	R6.5頃判明			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第１期中間	第１期総括	第２期中間	第２期総括	第3期中間
						目標値実績値	第１期策定時値	第２期策定時値	第３期策定時値	R4年度	第３期中間（R5年度）	第３期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第３期中間達成度	第１期中間（H28年度）	第１期総括（H29年度）	第２期中間（R1年度）	第２期総括（R3年度）	第３期中間（R5年度）							
第１部会（子育て・教育・福祉部会）	2-3-2	自ら学び、活動するための支援（市民が生き生きと学び、活動するための環境をつくる）	●「今後の市民館・図書館のあり方」を踏まえた「行きたくなる」「まちに飛び出す」「地域の“チカラ”を育む」市民館・図書館をめざした取組の充実 ●市民館・図書館等の利用環境の向上や、老朽化対策など、市民の生涯学習を支える環境整備の推進 ●身近な生涯学習や地域活動の場としての、学校施設の更なる有効活用の推進	（1）	教育文化会館・市民館・分館の社会教育振興事業参加者数	目標値				9.125	9.15	9.2	万人	↗	d	－	R6.5頃判明	B	B	C	C	C	③④⑤	295			●		
						実績値	8.9	8.9	1.3	4.135	R6.5頃判明			増減														
				（2）	教育文化会館・市民館・分館施設利用率	目標値				57.4	57.5	57.7	%	↗	c	－	R6.5頃判明												
						実績値	56.6	56.7	37.8	48.7	R6.5頃判明			増減														
				（3）	市立図書館・分館における図書館の入館者数	目標値				437.5	438	439	万人	↗	c	－	R6.5頃判明												
						実績値	433.7	409.4	226.4	327.7	R6.5頃判明			増減														
				（4）	学校施設開放の利用者数	目標値				267.8	267.9	268.1	万人	↗	c	－	R6.5頃判明												
						実績値	260.9	267.2	144.7	244.9	250			増減														
				（5）	社会教育振興事業を通じて新たなつながりが増えた割合	目標値				70.875	71.25	72	%	↗	c	－	R6.5頃判明												
						実績値	67.5	70.4	46.6	46.01	R6.5頃判明			増減														
				（6）	市立図書館における個人利用者への図書資料の貸し出し冊数	目標値				600	600	600	万冊	↗	a	－	R6.5頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		548	628	R6.5頃判明		増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第２部会（まちづくり部会）	1-1-1	災害・危機事象に備える対策の推進（災害発生時の被害や生活への影響を減らす）	●「かわさき強靭化計画」や「地域防災計画」等の各種防災計画に基づいたハード・ソフトの両面からの防災・減災対策の推進 ●全職員が一丸となり迅速な意思決定や機動的な災害対応を可能とする危機管理体制の充実・強化 ●各区と地域が平時からのつながりを活かして、地域の実情や課題等に対応したリアリティのある訓練の実施と検証等を踏まえた地域完結型の防災をめざす取組の推進 ●新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営など感染症と自然災害の複合化対策の推進 ●あらゆる危機事象に備え、自助・共助・公助がそれぞれの力を高めつつ、強みとともに弱みを共有し、補い合う関係づくり	（1）	避難所運営会議を開催している避難所の割合	目標値				71	80	90	%	↗	a	a	a	B	B	B	B	B	②	140	●				
						実績値	66.9	68	68.2	77.3	88			増減														
				（2）	避難所を知っている人の割合	目標値				－	55.9	60	%	↗	－	b	b											
						実績値	39.5	39.1	49.5	－	44.3			増減														
				（3）	家庭内備蓄を行っている人の割合	目標値				－	63.7	65	%	↗	－	b	b											
						実績値	56.9	52	62.5	－	63.2			増減														
				（4）	震災時及び風水害時に自分がとるべき避難行動を把握している人の割合	目標値				－	56.4	60	%	↗	－	c	c											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	52.9	－	47.3			増減														
	1-1-2	地域の主体的な防災まちづくりの推進（地域の特性に応じた地域防災力向上により、延焼等による被害を減らす）	●不燃化重点対策地区における建築物の不燃化の促進 ●火災延焼リスクの高い地区における減災対策に向けた地域住民との協働による防災まちづくりの推進	（1）	重点的に取り組む密集市街地※における大規模地震時の想定焼失棟数の削減割合	目標値				33.2	33.8	35	%	↗	a	a	a	B	B	A	A	A	オ	147				●	
						実績値	20	16.8	31.5	33.7	34.7			増減														
				（2）	火災延焼リスクの高い地区における大規模地震時の建物倒壊による道路閉塞の確率	目標値				39.3	38.5	37	%	↘	a	a	a											
						実績値	第2期から設定	43	38.4	37.6	37.4			増減														
	1-1-3	まち全体の総合的な耐震化の推進（地震発生時の建築物等の倒壊による被害を減らす）	●「耐震改修促進計画」に基づく特定建築物や住宅の耐震化の促進 ●大規模盛土造成地における震災被害軽減に向けた取組や崖地における防災工事の促進などによる、宅地の自然災害対策の推進 ●「橋梁耐震化計画」に基づく計画的な橋りょう耐震対策の推進	（1）	特定建築物の耐震化率	目標値				95.9	96.3	97	%	↗	b	b	b	B	B	B	A	A	②⑤	150			●		
						実績値	92	92.8	95.2	95.77	96.2			増減														
				（2）	住宅の耐震化率	目標値				96.5	97	98	%	↗	b	b	b											
						実績値	92	92.7	95.6	96.3	96.6			増減														
				（3）	橋りょうの耐震化率	目標値				66	70	79	%	↗	a	b	b											
						実績値	47	51	61	66	67			増減														
	1-1-4	消防力の総合的な強化（消防力を強化することで、さまざまな災害から市民を守る）	●防災活動拠点、車両、資器材等の整備と訓練や研修の効果的な実践による消防体制の充実強化 ●消防団活動の充実強化や町内会等との連携による地域防災力の向上	（1）	出火率	目標値				2.38	2.38	2.18	件	↘	a	a	a	B	B	B	B	B		153	●				
						実績値	2.58	2.45	2.19	2.2	2.28			増減														
				（2）	消防団員数の充足率	目標値				91	91	93	%	↗	c	c	c											
						実績値	87.8	86.5	81.2	79.3	79.9			増減														
	1-1-5	安全・安心な暮らしを守る河川整備（水害から市民の生命、財産を守る）	●激甚化・頻発化する水害に適応した河川改修等の計画的な整備推進 ●ハード対策とソフト対策とが一体となった取組の推進	（1）	時間雨量50mm対応の河川改修率	目標値				91	91	91	%	↗	b	b	b	B	A	B	B	B	①②④	158					◎
						実績値	81	81	81.1	81	90			増減														
				（2）	五反田川放水路の供用により洪水による氾濫から守られる面積の割合	目標値				100	100	100	%	↗	b	－	未定												
						実績値	50	－	50	50	未定			増減														
				（3）	河川施設の機能を保全するための緊急対策工事実施率	目標値				47	52	87	%	↗	a	a	a											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	47	47	52			増減														
	1-2-1	防犯対策の推進（市内で発生する犯罪を未然に防ぐ地域づくりを進める）	●防犯設備の設置の推進や路上喫煙等の防止による安全・安心な生活環境の整備 ●多様な主体と連携した防犯対策による地域の防犯力の強化 ●犯罪被害者等に寄り添った生活支援を中心とした取組の推進 ●消費者被害の未然防止に向けた関係機関との連携による取組の推進	（1）	空き巣等の刑法犯認知件数	目標値				8,500	8,500	8,500	件	↘	a	a	a	A	A	A	A	A	①②④⑤	161					◎
						実績値	10,685	9,177	6,307	5,918	7,653			増減														
				（2）	路上喫煙防止重点区域通行量調査で確認された喫煙者数	目標値				15	15	15	人	↘	a	a	a											
						実績値	42	30	15	12	3			増減														
				（3）	消費生活相談の年度内完了率	目標値				99	99	99	%	↗	a	a	a											
						実績値	98.2	99.5	99.7	99.5	99			維持														
	1-2-2	交通安全対策の推進（市内の交通事故を減らす）	●特に事故構成率の高い高齢者と自転車利用者を含めた各世代に対する、交通事故防止に向けた交通安全教育の推進 ●デジタル化に即した交通安全啓発の推進 ●歩道、交差点及び道路安全施設の継続的な整備 ●更なる放置自転車の削減に向けた効率的・効果的な対策の推進 ●夕方の買い物利用者への放置対策に向けて、放置の状況を考慮した、重点的な撤去活動の推進	（1）	交通事故発生件数	目標値				2,878	2,878	2,878	件	↘	a	a	a	A	B	A	A	A	①④	165					入替候補
						実績値	3,696	3,218	2,878	2,592	2,753			増減														
				（2）	放置自転車の台数	目標値				1,900	1,800	1,600	台	↘	a	a	a											
						実績値	3,367	2,935	2,011	1,376	1,300			増減														
	1-2-3	ユニバーサルデザインのまちづくりの推進（誰もが訪れやすく暮らしやすい「ユニバーサルデザインのまち」にする）	●ユニバーサルデザインのまちづくりやソフト・ハードの両面からのバリアフリーの取組の推進 ●鉄道駅におけるホームドアの整備促進など、誰もが安全・安心に利用できる交通環境の形成に向けた取組の推進	（1）	バリアフリー化すべき重要な特定の道路の整備割合	目標値				100	100	100	%	↗	b	b	b	C	B	A	A	A		169	●				
						実績値	35	58	96	98.8	98.8			増減														
				（2）	市内法人タクシーに占めるユニバーサルデザインタクシーの割合	目標値				14	18	25	%	↗	a	a	a											
						実績値	2.5	2.8	14.3	19	19			増減														
				（3）	誰もが安全・安心に公共的施設を利用できると感じる人の割合	目標値				－	50	50	%	↗	－	a	a											
						実績値	49.1	46.1	46.8	－	51.09			維持														
				（4）	駅利用者10万人以上の駅等におけるホームドア等の累計整備番線数	目標値				24	30	36	番線	↗	b	b	b											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	20	20	26			増減														

※掲載している数値や区分等については、2月20日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（案）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第２部会（まちづくり部会）	1-2-4	地域の生活基盤となる道路等の維持・管理（誰もが安全、快適に道路を利用できる）	●予防保全の考え方による計画的な維持管理の推進 ●持続可能で効率的な維持管理による施設等の長寿命化の推進 ●道水路の効率的な管理や災害復旧等に寄与する道水路台帳平面図等管理・閲覧システムの機能向上の推進	（1）	道路施設の健全度	目標値				96	97	98	%	↗	a	a	a	B	B	B	A	A	①	172					入替候補
						実績値	73	82	92	96	97			増減															
				（2）	地籍調査等で得た道路等の座標値を道水路台帳平面図等管理・閲覧システムに搭載した累計点数	目標値				14,500	29,000	58,000	点	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	19,000	30,870			増減															
				（3）	不法占拠解消の累計件数	目標値				730	810	970	件	↗	b	b	b												
						実績値	90	277	523	617	657			増減															
				（4）	不法占拠者への指導の年間実施回数	目標値				500	500	500	回	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	264	537	500			増減															
	1-3-1	安定給水の確保と安全性の向上（安全でおいしい水を安定的に供給する）	●老朽化した水道施設・管路の更新及び耐震化の推進 ●大規模災害に備えた応急給水拠点の整備及び更なる利便性の向上の推進 ●良質で安全な水の安定供給に向けた水質管理の徹底 ●主要な工業用水道施設の耐震化・浸水対策の推進及び長期的需要動向を踏まえた施設・管路の将来構想の検討	（1）	重要な管路の耐震化率	目標値				100	100	100	%	↗	b	b	b	B	A	A	A	A	⑤	176		●			
						実績値	70.6	79.6	93.1	97.9	98.2			増減															
				（2）	管路の耐震化率	目標値				40.1	41.7	44.9	%	↗	a	a	a												
						実績値	第2期から設定	30.2	36.7	40.8	42.6			増減															
				（3）	災害時の確保水量	目標値				16.5	16.5	16.6	万㎥	↗	a	a	a												
						実績値	2.8	10.7	16.4	16.5	16.5			増減															
				（4）	開設不要型応急給水拠点の整備率	目標値				84	100	100	%	↗	a	b	b												
						実績値	7.6	17.4	55.2	85.1	98.9			増減															
				（5）	工業用水道の浄水場等連絡管整備率	目標値				－	－	100	%	↗	－	－	－												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	－	－			増減															
	1-3-2	下水道による良好な循環機能の形成（地域の安全と環境を守り、きれいな水を川崎の川と海に返す）	●下水道の管きょ・施設の地震対策の推進 ●重点化地区や令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた局地的な浸水対策等の推進 ●水処理センターの高度処理化の推進 ●下水道法施行令への対応に向けた合流式下水道の改善 ●下水道の管きょ・施設の老朽化対策の推進 ●下水道事業における地球温暖化対策の推進	（1）	重要な管きょの耐震化率（市内全域）	目標値				87.7	88.4	89.7	%	↗	a	a	a	A	A	B	A	A	①②⑤	180					◎
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	86.3	87.7	88.4			増減															
				（2）	重要な管きょの耐震化率（川崎駅以南の地域）	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a												
						実績値	33.5	65.1	99.2	100	100			増減															
				（3）	重要な管きょの耐震化率（川崎駅以北の地域）	目標値				14.3	19	28.4	%	↗	a	a	a												
						実績値	第2期から設定	－	4.6	14.3	19			増減															
				（4）	避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ重要な管きょの耐震化率	目標値				71.9	77.6	89	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	59.7	71.9	77.6			増減															
				（5）	浸水対策実施率（丸子、宮崎、大師河原、馬絹、久末地区）	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a												
						実績値	22.6	57.6	100	100	100			増減															
				（6）	浸水対策実施率（三沢川、土橋、京町・渡田、川崎駅東口周辺、大島、観音川地区）	目標値				29.3	32.1	40.8	%	↗	b	a	a												
						実績値	第2期から設定	－	24.3	29	32.1			増減															
				（7）	排水樋管周辺地域の浸水対策累計実施数【令和元年東日本台風当日の床上浸水面積に対する解消率（想定）】	目標値				6【65.2%】	7【65.2%】	7【65.2%】	対策	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	5【64.4%】	6【65.2%】	7【65.2%】			増減															
				（8）	合流式下水道改善率（雨天時に川や海に処理しきれない下水が放流されることへの対策）	目標値				73.5	100	100	%	↗	a	b	b												
						実績値	68.5	68.5	73.5	73.5	73.5			増減															
				（9）	高度処理普及率	目標値				59.3	59.3	100	%	↗	a	a	a												
						実績値	第2期から設定	27	34.5	59.3	59.3			増減															
				（10）	管きょ再整備率（管きょ再整備重点地域）	目標値				36.9	37.7	39.8	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	35.3	36.9	37.7			増減															
				（11）	温室効果ガス排出量の削減割合（2013年度比）	目標値				−22.7	−24.2	−27.7	%	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	−21.6	−22.7	−24.2			増減															

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第１期中間	第１期総括	第２期中間	第２期総括	第3期中間
						目標値実績値	第１期策定時値	第２期策定時値	第３期策定時値	R4年度	第３期中間（R5年度）	第３期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第３期中間達成度	第１期中間（H28年度）	第１期総括（H29年度）	第２期中間（R1年度）	第２期総括（R3年度）	第３期中間（R5年度）						
第２部会（まちづくり部会）	3-1-1	地球環境の保全に向けた取組の推進（地球温暖化による市民生活などへの影響を減らす）	●脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」等を踏まえた、新たな「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」に基づく、脱炭素社会の実現に向けた取組の推進 ●地球温暖化に起因する異常気象等に対応する、気候変動適応策の取組の推進	（1）	市域の温室効果ガス排出量の削減割合【1990年度比】	目標値				−22.1	−23.4	−26	%	↗	a	a	a	B	B	B	B	A	④	304		●			
						実績値	−13.8	−16.8	−23.6	−27.6	−25.6			増減														
				（2）	市域の温室効果ガス排出量の削減割合【2013年度比】	目標値				−8.5	−10	−13.1	%	↗	a	a	a											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	−10.2	−15.6	−12.6			増減														
				（3）	市役所の温室効果ガス排出量の削減割合（2013年度比）	目標値				−10.9	−13.2	−18.5	%	↗	c	−	R6.7頃判明											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	−9.6	−9	R6.7頃判明			増減														
				（4）	市域の再生可能エネルギー導入量	目標値				21	21.6	24.3	万kW	↗	a	a	a											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	20.5	21.2	21.7			増減														
				（5）	市民や市内の事業者による環境に配慮した取組(省エネなど)が進んでいると思う市民の割合	目標値				−	29	30	%	↗	−	a	a										
						実績値	24.9	27.7	25.8	−	30			増減														
	3-2-1	地域環境対策の推進（空気や水などの地域環境を守る）	●環境基準等の達成維持に向けた、環境関連法や市条例に基づく取組の着実な実施 ●更なる環境負荷の低減と環境に関する市民実感の向上をめざした「大気・水環境計画」に基づく、多様な主体と連携した取組や事業者の自主的な取組等の推進	（1）	光化学スモッグ注意報の発令日数	目標値				0	0	0	日	↘	b	b	b	A	B	C	B	A		310			●		
						実績値	6	4	2	3	2			増減														
				（2）	光化学オキシダント環境改善評価指標値	目標値				0.0105	0.0105	0.0105	ppm	↘	a	a	a											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	0.0106	0.0096	0.0097			維持														
				（3）	二酸化窒素の環境基準を達成した測定局の割合【0.06ppmを達成した割合】	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a											
						実績値	94.4	100	100	100	100			増減														
				（4）	二酸化窒素の環境基準を達成した測定局の割合【0.04ppmを達成した割合】	目標値				55.6	55.6	72.2	%	↗	a	−	R6.7頃判明											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	58.8	83.3	R6.7頃判明			増減														
				（5）	「きれいな水」の指標魚種の生息地点割合	目標値				75	75	100	%	↗	a	a	a											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	75	100	75			増減														
				（6）	河川のBOD、運河部のCODの環境基準値適合割合	目標値				100	100	100	%	↗	a	a	a											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	100	100	100			維持														
	3-2-2	持続可能な循環型のまちをめざした取組の推進（廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進める）	●市民・事業者・行政の協働によるごみの減量化・資源化の推進 ●安定性・安全性を確保した効率的・効果的な廃棄物処理事業の推進 ●脱炭素化に向けたプラスチック資源循環の推進	（1）	1人1日あたりのごみ排出量	目標値				898	886	872	g	↘	a	a	a	A	A	A	B	A	④⑤オ	313				●	
						実績値	998	947	902	858	830			増減														
				（2）	ごみ焼却量（1年間）	目標値				35.26	34.5	33	万t	↘	a	a	a											
						実績値	37.1	36.6	35.8	34.01	32.6			増減														
				（3）	プラスチック製容器包装の分別率	目標値				39.7	40.6	45	%	↗	a	b	b											
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	37.8	40.5	40			増減														
	3-3-1	協働の取組による緑の創出と育成（多様な主体との協働、連携により緑を育む）	●多様な主体との協働によるグリーンコミュニティ形成に向けた取組の一層の推進 ●緑化フェアを契機とした多様なみどりを活用した安心で心豊かな暮らしの実現に向けた取組の推進	（1）	緑のボランティア活動の累計か所数	目標値				2,427	2,435	2,450	か所	↗	c	c	c	B	B	B	B	B	②④	319			●		
						実績値	2,355	2,321	2,304	2,291	2,291			増減														
				（2）	市民150万本植樹運動による累計植樹本数	目標値				127	138	150	万本	↗	b	b	b											
						実績値	61	80	110	125	135			増減														
				（3）	緑の活動に取り組んでみたい、又は取り組んだことのある人の割合	目標値				−	71	75	%	↗	−	c	c										
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	67.4	−	62			増減														
	3-3-2	魅力ある公園緑地等の整備（豊かな市民生活を実現するため、都市に緑と水のオープンスペースを創出する）	●公園緑地の立地特性や地域ニーズ等を踏まえた、都市の価値を高め、魅力ある公園緑地づくりの推進 ●まちの賑わいの向上に向けた、民間活力の導入などによる大規模公園緑地の整備推進 ●予防保全型の維持管理など公園施設の適切な維持管理の推進 ●公園緑地の柔軟かつ多様な利活用や持続可能な管理運営に向けたパークマネジメントの推進	（1）	1人あたりの公園緑地面積	目標値				5	5	5	㎡／人	↗	b	b	b	C	C	B	B	B		323	●				
						実績値	5	5	4.9	4.93	4.93			維持														
				（2）	公園緑地の整備・管理状況についての満足度	目標値				−	64	65	%	↗	−	b	b											
						実績値	第2期から設定	61.4	63.4	−	61.4			増減														
	3-3-3	多摩丘陵の保全（市域に残された緑地、里山を再生、保全し、次世代に継承する）	●さまざまな制度を活用した緑地保全の取組の推進 ●市民等による効果的な緑地・里山の保全や、保全緑地の多様な利活用の一層の推進	（1）	緑地保全面積	目標値				285	290	300	ha	↗	b	b	b	A	B	B	B	B	オ	328				●	
						実績値	232	241	251	253	253			増減														
				（2）	企業・教育機関等の参加による保全活動累計か所数	目標値				7	8	9	か所	↗	b	b	b											
						実績値	4	4	5	5	6			増減														
				（3）	市民が利用できる緑地の累計か所数	目標値				30	30	32	か所	↗	a	a	a											
						実績値	第2期から設定	26	30	30	31			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		目標値／実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	施策の進捗状況 第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）	選定区分①～⑤ 選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
第２部会（まちづくり部会）	3-3-4	農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進（多面的な役割を果たしている貴重な農地を市民とともに継承する）	●多面的な機能を有する都市農地の保全・活用に向けた取組の推進 ●農地の利用意向把握や利用権設定等の促進による農地の利用集積・集約化の推進 ●多様な主体との連携による、市民が「農」に触れる場の提供促進 ●都市農業に対する理解の促進に向けた効果的なPRの実施	（1）	生産緑地の年間新規指定面積	目標値				12,000	12,000	12,000	㎡	↗	a	c	c	B	B	A	A	B	①⑤	331					入替候補
						実績値	12,000	10,528	14,260	17,500	8,220			維持															
				（2）	防災農地の年間新規登録数	目標値				8	8	8	か所	↗	a	a	a												
						実績値	7	11	17	18	19			増減															
				（3）	市民農園等の累計面積	目標値				106,500	108,000	111,000	㎡	↗	b	b	b												
						実績値	73,790	98,961	85,786	87,117	91,978			増減															
				（4）	利用権設定等の集積面積	目標値				9.1	9.4	10	ha	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	8.7	11.5	11.7			増減															
				（5）	都市農業に対する関心度	目標値				－	57	59	%	↗	－	c	c												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	54.8	－	54.4			増減															
	3-3-5	多摩川の魅力を活かす総合的な取組の推進（多くの市民が「憩い」「遊び」「学ぶ」多摩川の魅力を高める）	●民間活力の導入など多摩川の利活用による賑わいの創出に向けた取組の推進 ●市民との協働や流域自治体等との連携による多摩川の魅力向上に向けた取組の推進	（1）	多摩川を利用したことがあり、魅力を感じる人の割合	目標値				－	43	45	%	↗	－	b	b	A	B	B	B	B	⑤	334		●			
						実績値	37.7	40.1	43.5	－	38.47			増減															
				（2）	渡し場イベントの参加者数	目標値				4,900	5,300	6,000	人	↗	d	d	d												
						実績値	第2期から設定	2,400	500	2,000	800			増減															
				（3）	多摩川におけるイベントの参加者満足度	目標値				89	91	95	%	↗	a	－	R6.4頃判明												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	87.4	93	R6.4頃判明			増減															
	4-5-1	魅力にあふれた広域拠点の形成（川崎・武蔵小杉・新百合ヶ丘駅周辺の魅力を高める）	●川崎駅周辺地区における川崎の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備の推進と賑わいの創出等に向けた取組の推進 ●小杉駅周辺地区におけるコンパクトに集積した都市機能の誘導と賑わい等の創出、安全性・利便性の向上に向けた交通基盤の強化の推進 ●新百合ヶ丘駅周辺地区における周辺環境等の変化を見据えた土地利用転換の誘導と交通結節機能の強化に向けた取組の推進	（1）	広域拠点（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の駅周辺人口	目標値				14.2	14.3	14.5	万人	↗	a	a	a	A	A	A	A	A	④	396			●		
						実績値	12.6	13.1	14.1	14.2	14.4			増減															
				（2）	広域拠点（川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅）の駅平均乗車人員	目標値				58.8	59.1	59.8	万人／日	↗	c	c	c												
						実績値	52.4	56.4	41.9	43.8	47.8			増減															
				（3）	拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思う人の割合	目標値				－	68.9	70	%	↗	－	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	67.7	－	68.4			増減															
	4-5-2	個性を活かした地域生活拠点等の整備（新川崎・鹿島田、溝口、鷺沼・宮前平、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺の魅力を高める）	●利便性が高く多様なライフスタイルに対応した都市機能の集積や交通結節機能の強化などをめざした市街地再開発事業等による地域生活拠点の整備 ●地域特性に応じた多様な主体との連携による鉄道沿線まちづくりの推進と身近な駅周辺等の整備	（1）	地域生活拠点（新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）の駅周辺人口	目標値				18.7	19	19.6	万人	↗	a	a	a	A	A	A	A	A	①④	400					入替候補
						実績値	17.5	18	19.2	19.3	19.4			増減															
				（2）	地域生活拠点（新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅）の駅平均乗車人員	目標値				49.6	49.8	50	万人／日	↗	c	c	c												
						実績値	47.3	48.3	35.7	38.8	42.3			増減															
				（3）	拠点駅周辺をさまざまな施設が充実した回遊性の高いまちと思う人の割合	目標値				－	49.3	50	%	↗	－	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	48.6	－	51.2			増減															
	4-6-1	安全で安心して快適に暮らせる計画的なまちづくりの推進（都市環境と調和した暮らしやすく魅力的な都市空間を創出する）	●激甚化・頻発化する自然災害の発生や少子高齢化の進展など社会環境の変化を踏まえた持続可能で計画的なまちづくりの推進 ●脱炭素社会や持続可能なまちの実現に向けた、良好な市街地環境の形成や環境に配慮した建築物の普及促進	（1）	新築される建築物のうち、環境に配慮した建築物の割合	目標値				21.5	22	23	%	↗	a	a	a	B	B	A	A	A	①②⑤	405					◎
						実績値	17	21	19.3	22.2	22.1			増減															
				（2）	市街地開発事業等の制度を活用した取組の累積件数	目標値				10	11	13	件	↗	a	a	a												
						実績値	6	6	11	12	13			増減															
	4-6-2	地域の主体的な街なみ形成の推進（機能的で美しく、住んでいてここちよい街なみを創出する）	●景観をめぐる社会環境の変化に対応した個性と魅力あふれる良好な都市景観形成の推進 ●良好な住環境形成に向けた住民発意の地区まちづくり活動への支援の推進	（1）	「景観計画」等に位置づけられる景観形成基準が遵守されている割合	目標値				33.5	36	41	%	↗	b	b	b	A	A	A	A	A	①	408					入替候補
						実績値	15.5	20.1	28.6	33.4	35.2			増減															
				（2）	「地区まちづくり育成条例」に基づく登録・認定団体の累計件数	目標値				26	28	32	件	↗	a	a	a												
						実績値	12	17	28	32	36			増減															
	4-7-1	広域的な交通網の整備（首都圏における円滑な交通網を整える）	●鉄道事業者や周辺自治体等との連携による鉄道ネットワークの形成に向けた取組の推進 ●本市の都市機能の強化などに資する広域的な道路ネットワークの形成に向けた取組の推進	（1）	都市拠点から羽田空港までの平均所要時間	目標値				－	－	35※	分	↘	－	－	－	B	B	A	A	A	エ	411					
						実績値	44	45	45	－	－			増減															
				（2）	JR南武線の最混雑時間帯における混雑率	目標値				180	180	180	%	↘	a	－	R6.7頃判明												
						実績値	195	188	120	130	R6.7頃判明			増減															
	4-7-2	市域の交通網の整備（自動車での市内交通を円滑化する）	●地域特性を踏まえた交通環境の改善や事業効果の早期発現に資する効率的・効果的な幹線道路等の整備の推進 ●今後の社会変容等も踏まえた都市交通の円滑化や地域分断の解消、地域資源を活かした沿線まちづくりと連携した連続立体交差事業の計画的な推進	（1）	都市計画道路進捗率	目標値				69	70	71	%	↗	a	c	c	B	B	B	B	B	①④	414					入替候補
						実績値	68	－	69	69	69			増減															
				（2）	市内幹線道路における混雑時（朝夕ピーク時）の平均走行速度	目標値				－	－	17.8	km／h	↗	－	－	－												
						実績値	16.9	－	15.9	－	14.9			増減															
				（3）	JR南武線連続立体交差事業に係る用地買収の進捗率	目標値				－	－	25	%	↗	－	－	－												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	0	－	－			増減															

※掲載している数値や区分等については、2月20日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第２部会（まちづくり部会）	4-7-3	身近な交通環境の整備（地域の人々が生活しやすい交通環境を整える）	●効率的・効果的な路線バスネットワークの形成に向けた取組の推進 ●多様な主体等との連携や新技術・新制度を含むさまざまな運行手法の活用によるコミュニティ交通の導入促進等に向けた取組の推進 ●安全・安心でまちの魅力向上等に寄与する自転車活用等の推進	（1）	市内全路線バスの乗車人員数（1日平均）	目標値				33.2	33.5	34	万人	↗	a	b	b	B	B	A	A	A	②④⑤オ	418				●	
						実績値	31.6045	32.6	32.9	33.4	32.2			増減														
				（2）	コミュニティ交通の利用者総数	目標値				11.8	12	12.5	万人	↗	c	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定		10.9	10.4	11.6		増減														
				（3）	自転車が関わる交通事故件数	目標値				960	940	900	件	↘	a	b	b												
						実績値	1,097	899	947	865	941			増減														
	4-7-4	市バスの輸送サービスの充実（安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する）	●利用実態を踏まえた事業規模への適正化に向けた取組の推進 ●輸送安全性の確保やお客様サービス、移動空間の快適化に向けた取組の推進	（1）	有責事故発生件数（走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数）	目標値				0.28	0.28	0.28	件	↘	b	a	a	B	B	B	B	B	②⑤	422		●			
						実績値	0.29	0.38	0.4	0.3	0.28			維持														
				（2）	お客様満足度	目標値				69	70	72	%	↗	c	b	b												
						実績値	55.4	59.2	50.4	48.8	63.3			増減														
				（3）	市バスの乗車人数（1日平均）	目標値				11.5	11.5	11.5	万人	↗	a	a	a												
						実績値	12.79	13.09	12.9	12	11.6			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		目標値実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	施策の進捗状況 第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）	選定区分①～⑤ 選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
第３部会（自治・文化・経済部会）	4-1-1	アジアを中心とした海外での事業展開支援の強化（海外展開する市内企業を支援し、海外で活躍する企業を増やす）	●新型コロナウイルス感染症の影響により多様化した、市内中小企業のニーズ等に対応した海外へのビジネス展開支援の実施 ●脱炭素社会実現に向けた環境分野における国内外でのビジネス展開の支援の実施 ●水関連企業の海外展開支援による上下水道分野の国際展開の推進	（1）	市が支援したビジネスマッチングの年間成立件数	目標値				800	800	800	件	↗	a	a	a	A	A	A	B	A	①②④⑤	341					◎
						実績値	581	840	371	833	981			増減															
				（2）	グリーンイノベーションクラスターのプロジェクトの年間件数	目標値				7	7	10	件	↗	a	a	a													
						実績値	2	2	8	9	9			増減															
				（3）	上下水道分野の国際展開活動件数	目標値				100	100	100	件	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	92	111	108			増減															
	4-1-2	魅力と活力のある商業地域の形成（魅力と活力のある商業地域の形成や付加価値が高く競争力のある商品の供給により、商業を活性化させる）	●川崎に愛着を持ちエリアを牽引する商業者が、多様な主体を巻き込み、自主的・自立的に再活性化を図るしくみの構築 ●商業者のデジタル化など社会経済環境の変化を踏まえた地域課題への対応や、魅力ある個店の集積による、活力ある商業地域の形成 ●持続可能な卸売市場の構築や効率的な管理運営手法の確立及び施設の機能強化に向けた取組の推進	（1）	経済構造実態調査による小売業年間商品販売額	目標値				12,233	12,233	12,233	億円	↗	c	－	R6.5頃判明	B	B	B	C	C	②③④⑤	344	●				
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	12,233	11,572	R6.5頃判明			維持															
				（2）	市内商店街で行われる新たな顧客の創出や商店街の回遊性を高めるイベントの開催数	目標値				22	23	25	回	↗	d	d	d													
						実績値	第2期から設定	17	3	10	12			増減															
				（3）	市の支援を受けて市内で開業した商業者累計数	目標値				5	10	30	件	↗	b	b	b													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	1	5			増減															
				（4）	市場の年間卸売取扱量	目標値				151,433	151,433	151,433	t	↗	c	c	c													
						実績値	151,433	133,290	135,996	132,558	141,787			維持															
	4-1-3	中小企業の競争力強化と活力ある産業集積の形成（市内中小企業の技術を活かして事業展開できる環境を整備することで、経営を改善し、成長を促進させる）	●市内中小企業の活性化に向けた経営力・技術力強化及び事業承継・事業継続力強化のための支援の推進 ●知的財産マッチングの取組など知的財産戦略の推進による市内中小企業の新事業展開の促進 ●デジタル化やICT活用等による市内中小企業の働き方改革・生産性向上に向けた取組の推進 ●工業系用途地域における製造業等による持続的な土地利用と、中小製造業者による操業環境整備に向けた取組の推進	（1）	製造品出荷額等	目標値				42,968	42,968	42,968	億円	↗	－	－	－	B	B	B	C	B	⑤	348		●			
						実績値	42,968	44,216	41,256	－	－			維持															
				（2）	知的財産交流会におけるマッチングの年間成立件数	目標値				4	4	4	件	↗	a	d	d													
						実績値	4	3	2	4	1			維持															
				（3）	専門家派遣等の経営支援件数	目標値				900	900	900	件	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	842	1,006	971			増減															
				（4）	中小製造業者と工業用物件とのマッチング件数	目標値				2	4	15	件	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	0	2	7			増減															
				（5）	事業承継の累計支援企業数	目標値				90	120	180	社	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	30	104	144			増減															
	4-1-4	都市農業の強みを活かした農業経営の強化（市内農家の農業経営を安定化・健全化させる）	●都市農業の振興に向けた新規就農者等の多様な担い手の発掘・育成の推進 ●農業者の経営改善のための高収益作物生産に向けた技術・経営支援の実施 ●企業や大学等との連携やAI・ICT等と融合した農業における生産性向上に向けた取組の推進	（1）	認定農業者（経営体）累計数	目標値				47	52	62	人	↗	a	a	a	A	A	A	B	A	①⑤	353					入替候補
						実績値	25	36	54	51	53			増減															
				（2）	援農ボランティアの年間延べ活動日数	目標値				640	760	1,000	日	↗	a	a	a													
						実績値	400	413	992	1,317	1,000			増減															
				（3）	新規就農者数	目標値				6	6	6	人	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	6	12	6			維持															
				（4）	都市農業活性化連携フォーラムの参加者数	目標値				41	43	45	人	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	40	95	50			増減															
	4-2-1	ベンチャー支援、起業・創業の促進（次代を支える産業を創出するため、市内での起業を盛んにする）	●開業率の向上に向けた市内での起業の促進 ●「かわさき新産業創造センター（KBIC）」を拠点とした新産業の創出に挑戦する市内ベンチャー企業等に対する成長支援の推進	（1）	起業支援による年間市内起業件数	目標値				113	125	150	件	↗	a	a	a	B	A	A	A	A	④⑤	358			●		
						実績値	62	39	201	192	125			増減															
				（2）	かわさき新産業創造センターの入居率	目標値				90	90	90	%	↗	a	a	a													
						実績値	90	97	91	97	97			増減															
				（3）	かわさき新産業創造センター入居中小企業における、雇用増加につながった企業の割合	目標値				27.9	28.6	30	%	↗	a	a	a													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	27.3	50	50			増減															
	4-2-2	地域を支える産業の育成・市内事業者等の新分野への進出支援（成長分野や地域課題解決に寄与する市内事業所等の新分野への進出を促進する）	●超高齢社会を見据え、「Kawasaki Welfare Technology Lab（通称：ウェルテック）」を核とした優れた福祉製品等の創出と、かわさき基準（KIS）の認証によるウェルフェアイノベーションの推進 ●コミュニティビジネスやソーシャルビジネスに係る起業の促進	（1）	福祉製品等開発・改良プロジェクト累計件数	目標値				4	8	16	－	↗	a	a	a	A	B	B	A	B	①⑤	361					入替候補
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	－R5年度から実施）	6	12			増減															
				（2）	福祉製品・サービスの市場化累計件数	目標値				2	4	8	－	↗	a	b	b													
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	－R5年度から実施）	2	2			増減															
				（3）	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの年間起業件数	目標値				6	6	7	件	↗	b	b	b													
						実績値	4	5	5	5	5			増減															

※掲載している数値や区分等については、2月20日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等												施策の進捗状況					選定区分 ①～⑤ 選定外区分 ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
						目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明 ※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）						
第３部会（自治・文化・経済部会）	4-2-3	科学技術を活かした研究開発基盤の強化（先端科学技術分野において、高付加価値で競争力の高い製品を創出する）	●新川崎・創造のもりを拠点としたオープンイノベーションの推進による新たな技術・産業の創出 ●量子コンピューティング技術の普及・発展に向けた企業や研究機関の参画推進 ●ライフイノベーションの推進に向けたナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の運営及び研究活動支援 ●川崎市コンベンションホールにおける民間のノウハウを活用した産業交流の促進	（1）	新川崎・創造のもり地区における特許保有累計件数	目標値				165	170	180	件	↗	a	a	a	B	B	B	B	A	④⑤オ	364				●	
						実績値	94	144	156	170	170			増減														
				（2）	量子コンピューティング技術関連イベント等への企業の参加数	目標値				48	48	50	事業者	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	第3期から設定	59	50			増減														
				（3）	ナノ医療イノベーションセンターの入居率	目標値				90	90	90	%	↗	a	a	a												
						実績値	44	42	80	92	92			増減														
				（4）	川崎市コンベンションホールの稼働率	目標値				60	60	60	%	↗	b	b	b												
						実績値	－	－	21	42	46			増減														
	4-2-4	スマートシティの推進（スマートシティの推進により、新たな産業やサービスを創出する）	●持続可能な社会の構築と脱炭素社会の実現に向けたスマートエネルギーの取組をはじめとするスマートシティの推進 ●水素エネルギーの積極的な導入と利活用に向けた「川崎水素戦略」に基づく取組の実施 ●臨海部のカーボンニュートラル化実現に向けた取組の推進	（1）	スマートシティに関連するリーディングプロジェクト実施累計件数	目標値				48	53	63	件	↗	a	－	R6.5頃判明	A	A	A	A	A	①②④	367					◎
						実績値	7	24	38	55	R6.5頃判明			増減														
	4-2-5	ICT（情報通信技術）の活用による市民利便性の向上（ICTにより、行政サービスを一層手軽に利用できるようにする）	●社会変容への対応や「川崎市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進プラン」に基づいた取組の推進 ●行政手続のオンライン化、マイナンバーカードの利活用、窓口のデジタル化、情報発信の強化等、デジタルファーストの行政サービスの提供に向けた取組の推進 ●標準化・共通化への対応やテレワークの利用拡大、ワークスタイル変革や情報セキュリティ対策の徹底、AI・RPAの利用促進やBPR（業務プロセス改革）の徹底等、市役所内部のデジタル化に向けた取組の推進 ●デジタルデバイド対策や、官民データ（オープンデータ）連携等、地域社会のデジタル化に向けた取組の推進	（1）	提供しているオープンデータのデータセット数	目標値				350	400	500	件	↗	a	a	a	A	B	B	A	B	④⑤	370			●		
						実績値	27	69	256	378	405			増減														
				（2）	提供しているオープンデータのダウンロード数	目標値				6,250	6,500	7,000	件	↗	b	b	b												
						実績値	2,000	－	5,810	4,827	4,850			増減														
				（3）	市LINE公式アカウントの友だち登録者数	目標値				40,000	50,000	70,000	件	↗	a	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	22,448	43,490	49,200			増減														
				（4）	電子申請可能な手続のオンライン化率	目標値				100	-	100	%	↗	a	－	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	11	100	－			増減														
				（5）	電子申請システムの利用件数	目標値				400,000	500,000	600,000	件	↗	a	b	b												
						実績値	103,400	142,900	392,768	449,593	490,000			増減														
				（6）	キャッシュレス決済施設・窓口数	目標値				51	54	60	施設・窓口	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	33	51	61			増減														
	4-3-1	人材を活かすしくみづくり（市内での雇用を促進するとともに、市内の優れた技能を次世代に継承する）	●若者・女性・高齢者・就職氷河期世代など多様な人材の確保と雇用情勢等の社会的なニーズの変化に対応した就業支援の実施 ●「かわさきマイスター」制度をはじめとする技能の振興、継承の取組の推進	（1）	就業支援事業による就職決定者数	目標値				495	495	495	人	↗	b	c	c	B	B	A	C	B	⑤オ	375				●	
						実績値	465	472	412	489	400			増減														
				（2）	かわさきマイスターのイベント出展等の活動回数	目標値				103	104	106	回	↗	c	c	c												
						実績値	第2期から設定	97	38	82	82			増減														
				（3）	就業マッチングイベント等参加企業数	目標値				200	200	200	社	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	198	246	257			増減														
				（4）	就職氷河期世代の就職決定者数	目標値				235	235	235	人	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	225	260	235			増減														
	4-3-2	働きやすい環境づくり（誰もが働きやすい環境を整える）	●中小企業における従業員の福利厚生の充実に向けた取組の推進 ●市内事業所等のワークライフバランスの向上やテレワークの導入等の働き方改革への対応による働きやすい職場環境づくりの推進	（1）	ワークライフバランスの取組を行っている事業所の割合	目標値				80	80	80	%	↗	a	b	b	B	B	B	C	A	①⑤	378					入替候補
						実績値	67	68	76.8	80	77.6			増減														
				（2）	勤労者福祉共済の新規加入者数	目標値				440	440	440	人	↗	c	a	a												
						実績値	第2期から設定	398	231	331	440			増減														
				（3）	勤労者福祉共済の新規加入事業者数	目標値				42	42	42	者	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	31	50	42			増減														
				（4）	中小企業における常用労働者１人あたり平均の年次有給休暇消化率80%以上の事業者割合	目標値				20	20	20	%	↗	b	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	15.7	16	21.1			増減														
	4-4-1	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備（臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする）	●臨海部の持続的発展に向けた臨海部ビジョンに基づく戦略的マネジメントの推進 ●臨海部の基幹産業の動向を踏まえた、新産業創出拠点の形成や大規模な土地利用転換の取組の推進 ●キングスカイフロントの更なる成長に向けた新たな機能導入などによる、拠点価値向上に向けた取組の推進 ●臨海部の交通機能強化を図る新たな基幹的交通軸及び交通拠点の整備やネットワークの強化に向けた取組の推進 ●川崎市民の臨海部に対する誇りや期待感の醸成に向けた取組の推進	（1）	川崎区の従業者１人あたりの製造品出荷額	目標値				17,350	17,700	18,400	万円	↗	－	－	－	A	B	B	B	A	②④	382	●				
						実績値	14,500	14,527	12,192	－	－			増減														
				（2）	キングスカイフロント域内外の企業等マッチング件数	目標値				85	95	130	件	↗	a	－	R6.5頃判明												
						実績値	第2期から設定	9	71	117	R6.5頃判明			増減														
				（3）	キングスカイフロントにおける取組を知っていて、評価できると回答した人の割合	目標値				－	16	18	%	↗	－	b	b												
						実績値	第2期から設定	9.6	10.8	－	13.5			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）	施策の概要（施策の方向性）	成果指標		目標値実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	施策の進捗状況 第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）	選定区分①～⑤ 選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
第３部会（自治・文化・経済部会）	4-4-2 広域連携による港湾物流拠点の形成（川崎港での物流を活発にする）	●川崎港の取扱貨物量の増加を図るための取組の推進 ●川崎港の港湾物流機能の強化に向けた取組の推進 ●港湾貨物の円滑な輸送、防災機能の強化等に向けた取組の促進 ●カーボンニュートラル等の社会経済環境の変化に対応した川崎港の形成に向けた取組の推進	（1）	川崎港取扱貨物量（公共埠頭）	目標値				1,227	1,245	1,280	万t	↗	c	c	c	B	B	B	B	B	④⑤	388		●			
					実績値	1,134	1,044	888	852	839			増減														
			（2）	川崎港へ入港する大型外航船（3千総トン数以上）の割合	目標値				76.75	77.5	79	%	↗	a	a	a												
					実績値	70	72	77.3	76.9	78.8			増減														
	4-4-3 市民に開かれた安全で快適な臨海部の環境整備（川崎港の魅力を市民に広めるとともに、港の活力を高める）	●臨海部の活性化に向けた、各種イベントの開催や新たな賑わい創出による川崎港の魅力発信 ●川崎港の魅力向上に向けた、港湾緑地の特徴を活かした利用促進や効率的な管理運営 ●市民等が快適に利用できる川崎港の形成に向けた美化対策等の推進	（1）	川崎マリエン利用者数（港湾振興イベント及びスポーツ施設等の利用者を含む）	目標値				42.25	42.5	43	万人	↗	d	c	c	B	B	B	B	B	①⑤	392					入替候補
					実績値	40	34.5	12.4	23.63	31.2			増減														
			（2）	市内の海周辺施設を利用したことがあり、魅力を感じる人の割合	目標値				－	19	21	%	↗	－	b	b												
					実績値	11	13.3	15.4	－	14.8			増減														
	4-8-1 スポーツのまちづくりの推進（スポーツを身近に感じ、楽しむ市民を増やす）	●年齢や性別、障害の有無などにかかわらず誰もが身近な地域でスポーツに親しむまちの形成に向けた、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の充実と活動の場の持続可能な提供 ●障害などの有無にかかわらずスポーツを共に楽しみ、自分らしく暮らせるまちの形成に向けたパラスポーツの更なる推進 ●新型コロナウイルス感染症など本市を取り巻く環境の変化やそれに伴うスポーツのあり方を踏まえた多様なスポーツ施策の展開 ●若者文化を活用した、若い人たちが集い、自らの可能性を広げるための環境づくりの推進	（1）	週１回以上のスポーツ実施率	目標値				—	52.2	54	%	↗	－	b	b	B	B	B	C	B	④	427	●				
					実績値	34.8	40.6	50.4	－	47.6			増減														
			（2）	年１回以上の直接観戦率	目標値				—	34	35	%	↗	－	c	c												
					実績値	30.4	26.1	23.4	－	28.6			増減														
			（3）	スポーツを支える活動に年１回以上参加した人の割合	目標値				—	8	10	%	↗	－	a	a												
					実績値	5.7	3.5	6.1	－	8			増減														
			（4）	スポーツセンター等施設利用者数	目標値				276	276	276	万人	↗	c	－	R6.5頃判明												
					実績値	261.8	259.9	123.9	223	R6.5頃判明			増減														
			（5）	市障害者スポーツ大会競技参加者数	目標値				423	431	447	人	↗	c	b	b												
					実績値	359	402	422	300	378			増減														
			（6）	障害者の週１回以上のスポーツ実施率	目標値				34	—	36	%	↗	a	－	a												
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	32	40.3	－			増減														
	4-8-2 市民の文化芸術活動の振興（市内の文化芸術活動を推進し、一層市民に身近なものにする）	●誰もが文化芸術に触れ、参加できる環境づくり（アート・フォー・オール）の推進 ●市制100周年や社会変容を見据えた、地域資源を活用した多様な文化芸術活動の推進 ●市内文化関連施設の効率的・効果的な運営と更なる魅力の発信 ●市民ミュージアムの被災収蔵品修復作業等の推進及び新たな博物館、美術館の整備に向けた取組の推進	（1）	主要文化施設の入場者数	目標値				140.5	140.5	140.5	万人	↗	c	c	c	B	B	C	C	C	③④オ	433				●	
					実績値	126.9	128.6	57.1	87.7	97			増減														
			（2）	年１回以上文化芸術活動をする人の割合	目標値				—	19	20	%	↗	－	c	c												
					実績値	14.6	12.8	12.1	－	14.2			増減														
			（3）	文化・芸術の環境に対する満足度	目標値				—	35	40	%	↗	－	b	b												
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	29.6	－	31.5			増減														
	4-8-3 音楽や映像のまちづくりの推進（音楽や映像を活用して、都市の魅力向上や地域の活性化につなげる）	●誰もが身近に音楽を楽しめる環境づくりと音楽を通した活力とうるおいのある地域社会づくりの推進 ●ミューザ川崎シンフォニーホールなどの音楽資源を活かした「音楽のまち・かわさき」の魅力の発信 ●映像資源を活かした映像文化活動支援や情報発信による、都市の魅力向上やシビックプライドの醸成と次世代の映像文化の担い手の育成	（1）	「音楽のまち」の環境が充実していると感じる人の割合	目標値				—	58.5	60	%	↗	－	c	c	A	B	C	C	C	③	441			●		
					実績値	53.3	54	46.3	－	51.3			増減														
			（2）	ミューザ川崎シンフォニーホール主催・共催公演の入場者率	目標値				74	74.5	75	%	↗	a	a	a												
					実績値	72	73	72.6	76.4	75			増減														
			（3）	「映像のまち」の取組を知っていて、評価できると回答した人の割合	目標値				—	27.5	30	%	↗	－	d	d												
					実績値	18.4	19.1	11.4	－	11.6			増減														
	4-9-1 都市イメージの向上とシビックプライドの醸成（市内外における市の認知度・好感度を高める）	●市制100周年を契機とした、更なる都市イメージの向上とシビックプライドの醸成を図るためのシティプロモーションの推進 ●市内外に向けた、さまざまなメディアの効果的活用や発信力のある民間事業者等との連携による、本市の多彩な魅力の情報発信の強化 ●ブランドメッセージ等を活用した、多様な主体を巻き込んだ取組によるシビックプライドの醸成 ●これまで良好な関係を築き上げてきた海外都市等とのお互いの強みや特性を活かした更なる交流の推進	（1）	シビックプライド指標　市民の市に対する「愛着」に関する平均値	目標値				6.6	6.7	7	点	↗	c	c	c	C	C	C	C	B	④⑤	446		●			
					実績値	6	5.9	5.5	5.5	5.7			増減														
			（2）	シビックプライド指標　市民の市に対する「誇り」に関する平均値	目標値				5.6	5.7	6	点	↗	c	b	b												
					実績値	5	4.9	4.9	4.9	5.1			増減														
			（3）	隣接都市における、川崎市に良いイメージがあると感じている人の割合	目標値				53	53.5	55	%	↗	c	c	c												
					実績値	50.3	42	39.8	38	45.5			増減														
			（4）	市民のうち川崎市に良いイメージがあると感じている人の割合	目標値				62	64	67	%	↗	c	b	b												
					実績値	第3期から設定	第3期から設定	59.4	57.6	63.3			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。

施策・成果指標の進捗状況等一覧（第３期実施計画中間評価）

※１ ［ % ］⇒指標の単位
［ ↗ ］⇒ ↗ ：数値が高いことが望ましい指標
↘ ：数値が低いことが望ましい指標
［増減］⇒増減：現在の水準から増加又は減少させていく指標
維持：水準を維持していく指標

部会	施策名（直接目標）		施策の概要（施策の方向性）	成果指標		成果指標の進捗状況等 目標値 実績値	第1期策定時値	第2期策定時値	第3期策定時値	R4年度	第3期中間（R5年度）	第3期目標値（最終目標）	指標の補足説明※1		R4年度達成度	R5年度達成度	第3期中間達成度	施策の進捗状況 第1期中間（H28年度）	第1期総括（H29年度）	第2期中間（R1年度）	第2期総括（R3年度）	第3期中間（R5年度）	選定区分①～⑤選定外区分ア～オ	第3期実施計画（頁）	第1期中間	第1期総括	第2期中間	第2期総括	第3期中間
第３部会（自治・文化・経済部会）	4-9-2	川崎の特性を活かした観光の振興（市内への集客及び滞在を増加させる）	●観光協会、民間企業、近隣自治体等との連携による外国人観光客の誘客やナイトタイムエコノミー等の新たな観光振興施策の推進 ●地域の魅力、地域資源を再発見するマイクロツーリズムや本市の特性を活かした産業観光の取組の推進 ●市制100周年等を契機とした、本市の更なる魅力向上に向けた観光振興施策の推進 ●競輪事業の経営基盤の強化及び本市財政への貢献に向けた効率的な運営と、持続的な事業実施を図るための施設整備の推進	（1）	主要観光施設の年間観光客数	目標値				1,913	1,971	2,100	万人	↗	c	－	R6.3頃判明	B	B	B	D	C	①②③④⑤	450					◎
						実績値	1,504	1,549	1,276	1,262	R6.3頃判明			増減														
				（2）	宿泊施設の年間宿泊客数	目標値				201	204	210	万人	↗	c	－	R6.3頃判明												
						実績値	178	183	140	171	R6.3頃判明			増減														
				（3）	宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】	目標値				23	24	25	万人	↗	d	－	R6.3頃判明												
						実績値	15	20	6	4	R6.3頃判明			増減														
				（4）	工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数	目標値				8,350	8,600	9,200	人	↗	b	－	R6.3頃判明												
						実績値	6,600	5,416	900	7,053	R6.3頃判明			増減														
				（5）	競輪事業の一般会計繰出金	目標値				1.3	1.3	1.4	億円	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	1.4	1.3	1.5			維持														
	5-1-1	市民参加の促進と多様な主体との協働・連携のしくみづくり（多様な主体が協働・連携して地域課題の解決を進める）	●特別市制度の実現を含めた地方分権改革に向けた取組の推進 ●町内会・自治会活動の活性化に向けた支援の推進 ●「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく、市民創発による持続可能な暮らしやすい地域づくりの更なる推進 ●地域と多様な主体をつなぐコーディネートのしくみの機能強化 ●新たな地域課題解決の担い手の発掘と市民活動促進に向けた支援の推進 ●SDGs達成に向けた多様なステークホルダーの連携と主体的な取組の促進	（1）	地域貢献活動に関する取組にかかわったことのある人の割合	目標値				－	23	25	%	↗	－	c	c	B	C	C	C	B	④	458		●			
						実績値	19.8	15.3	16.9	－	16.3			増減														
				（2）	町内会・自治会加入率	目標値				64	64	64	%	↗	c	c	c												
						実績値	63.8	63.2	58.4	57.7	56.9			維持														
				（3）	市内認定・条例指定NPO法人数	目標値				24	26	30	団体	↗	b	b	b												
						実績値	8	9	16	17	18			増減														
				（4）	「かわさきSDGsパートナー」登録・認証事業者数	目標値				2,437	3,139	3,973	者	↗	a	a	a												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	1,434	3,145	3,288			増減														
				（5）	SDGsにつながる行動に取り組んでいる人の割合	目標値				－	34	50	%	↗	－	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	17.3	0	25.8			増減														
	5-1-2	迅速で的確な広報・広聴と市民に開かれた情報共有の推進（市民の意見を幅広く聴取するとともに、分かりやすい情報発信を行う）	●市民のさまざまな「声」の戦略的な収集と、市民視点に立った市政運営や取組への一層の活用の推進 ●『受け手の行動喚起を意識した広報』のための広報媒体・手法の強化・充実 ●情報・通信分野の技術の変化に対応した適切な情報発信 ●個人情報保護法の改正等を踏まえた個人情報の適正な管理の推進	（1）	コンタクトセンター内サンキューコールかわさきの応対満足度	目標値				4.9	4.9	4.9	点	↗	a	a	a	A	A	A	B	A		464			●		
						実績値	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9			維持														
				（2）	必要な市政情報を得ることができていると思う人の割合	目標値				－	43.5	45	%	↗	－	a	a												
						実績値	37.5	39.9	42.3	－	44.2			増減														
	5-1-3	共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化（市民満足度の高い区役所サービスを提供する）	●コミュニティづくりなどを通じて市民の主体的な取組を促す区役所機能の更なる強化 ●これまでの区民会議に替わる新しい参加の場としての「地域デザイン会議」の取組の推進 ●デジタル化等の社会環境に対応した、利便性が高く分かりやすい窓口サービスの提供 ●マイナンバーカードの更なる普及促進や区役所区民課等における各種手続への電子証明書の活用 ●区役所等庁舎の効率的・効果的な整備	（1）	区役所利用者のサービス満足度	目標値				－	99	99	%	↗	－	a	a	B	A	A	A	A	⑤オ	468				●	
						実績値	97.1	96.9	99.4	－	99.3			増減														
				（2）	個人番号カード交付率	目標値				55	65	85	%	↗	a	a	a												
						実績値	～2021.1から交付開始）	10	30.9	64	76.8			増減														
	5-2-1	平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進（平等と多様性を尊重する意識を高める）	●すべての市民が不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりの推進 ●国籍や民族、文化の違いを豊かさとして活かし、すべての人が互いに認め合い、人権が尊重され、自立した市民として共に暮らすことのできる「多文化共生社会」の実現に向けた取組の推進 ●子どもの権利を尊重する社会づくりに向けた取組の推進 ●平和意識の更なる普及に向けた取組の推進	（1）	平等と多様性が尊重されていると思う市民の割合	目標値				－	41	41	%	↗	－	b	b	B	B	B	B	A	①②④⑤	473					◎
						実績値	40.6	35	36.6	－	38.5			維持														
				（2）	他人の人権を侵害しないように配慮して日々の生活を送っている市民の割合	目標値				－	89.2	91	%	↗	－	b	b												
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	87.4	－	87.6			増減														
				（3）	子どもの権利に関する条例の認知度（子ども）	目標値				53.5	－	55	%	↗	a	－	a												
						実績値	45	49.7	52.5	59.7	－			増減														
				（4）	子どもの権利に関する条例の認知度（大人）	目標値				42.2	－	44	%	↗	a	－	a												
						実績値	31.9	38.3	33.2	42.3	－			増減														
	5-2-2	男女共同参画社会の形成に向けた施策の推進（性別に関わりなく誰もが個性や能力を発揮できる環境を整える）	●固定的な性別役割分担意識の解消に向けた男女共同参画に係る教育・啓発の推進 ●職業生活における女性の活躍推進と家庭生活における男性の参画促進、働き方改革の一体的な推進 ●困難を抱える女性の支援などの地域課題に対応する地域における男女共同参画の推進 ●DV防止・被害者支援基本計画に基づく取組の推進	（1）	性別にかかわらず、自分の個性や能力を発揮できる状況であると思う市民の割合	目標値				－	39.5	40	%	↗	－	a	a	B	B	B	B	B	②⑤	478	●				
						実績値	31.2	28.7	38.9	－	41.9			増減														
				（2）	市の審議会等委員に占める女性の割合	目標値				40	40	40	%	↗	b	b	b												
						実績値	31.5	31.3	31.2	32.2	33.5			増減														
	5-2-3	かわさきパラムーブメントの推進（それぞれが個性を活かし、すべての人が活躍できるまちを実現する）	●「人々の意識や社会環境のバリアを取り除き、誰もが社会参加できる環境を創り出す」という「かわさきパラムーブメント」の理念浸透に向けた、推進体制の構築と取組の推進 ●「かわさきパラムーブメント」のめざす「誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくり」の実現に向けた、レガシー形成に資する取組の推進	（1）	生活をする上で、バリア（障壁）を感じている人の割合	目標値				28.6	27.9	26.6	%	↘	a	a	a	－	－	－	－	A	①	481					入替候補
						実績値	第3期から設定	第3期から設定	29.3	22.2	21.5			増減														

※掲載している数値や区分等については、２月２０日時点での見込であり、今後、修正・変更になる可能性があります。